※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自主・自立・創造　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭科の学習を通して、送りたい人生をデザインし、自分らしい生き方を実現していこう。
・家庭生活で必要な知識や技能を身につけるとともに、暮らしと社会の課題を結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出そう。
・環境や社会、経済について総合的に考え、持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になろう。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身につける。
・実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して、家庭や地域の生活を創造する能力を身につける。
・家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、持続可能な社会を作るために、生涯を見通して、課題を解決する力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係わる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現するなどして、課題を解決する能力を身につけている。	よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活を見通す	1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	a:自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理することができ、生涯を見通した生活課題に対応して意思決定することの意義について理解している。 b:生活設計について、問題を見出し生活課題を設定し考察したことを論理的に表現したり発表することができる。 c:生涯を見通して課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート
	人生をつくる	1 人生をつくる 2 家族･家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	a:家族・家庭の機能と家族関係、家族と家庭生活を取り巻く社会環境の変化について理解し、家族と社会との関わりについて説明できる。 b:男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について課題を見出し、その解決に向けて適切に判断し、考えをまとめて発表することができる。 c:これからの家庭生活と社会について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート
	子どもと共に育つ	1 命を育む 2 子供の育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	a: 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、人と関わりながら成長することを理解し、親の役割や子どもにとってふさわしい保育環境について、説明することができる。 b: 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境とは何か、また親の役割や子どもを生み育てることの意義について考えをまとめたり発表したりすることができる。 c:子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	衣生活をつくる	1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	a：被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、生涯を通して健康で快適な衣生活を営む為に必要な被服計画、被服整理などの技術を身につけている。平面構成と立体構成について理解し、基本的な縫製技術を身につけている。 b：被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c：衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている	定期考査 成果物	定期考査 提出課題 成果物	授業態度 提出課題 ワーク シート
2学期	超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	a：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識する為に必要な知識を身につけ、高齢者と適切に関わり高齢者の自立を支える技術を身につけている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決を目指して考え表現している。 c：高齢者の生活について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート
	共に生き共に支える	1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	a：生涯を通して、家族・家庭生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b：家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持ち、共に支え合って生活することの重要性について課題を見出し、その解決を目指して考えをまとめて表現することができる c：共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	食生活をつくる	1食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7これからの食生活	a：栄養、食品、調理、食品衛生などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を営む為に必要な知識を身につけ、生涯を通して環境に配慮した食生活を営む為に必要な調理、食品衛生などの技術を、調理実習を通して身につけている。 b：食事と健康、安全と環境、食文化の継承に配慮した食生活について、課題を見出し、その解決を目指して考えをまとめて表現することができる c：食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題 成果物	授業態度 提出課題 ワーク シート
	住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活	a：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適かつ健康な住生活を営む為に必要な知識を身につけ、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 b：住居と家族の生活、防災などの安全や環境に配慮した住生活について課題を見出しその解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c：住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート
3学期	経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いとルールの決定 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 これからの経済生活	a：現在および将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計の為に必要な知識を身につけている。消費者の権利と責任を自覚し行動することができ、持続可能な消費について理解している。 b：自立した消費者として、生活情報を活用し、生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について課題を見出し、その解決を目指して考えをまとめて表現することができる c：生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	a:生活と環境とのかかわりや持続可能な消費について理解している b:安全で安心な生活と消費について、課題を見出して、解決を目指して考えをまとめて表現することができる。 c:持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート
	これからの生活を創造する	生活をデザインする	a:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報を収集・整理することができる。 b:生涯を見通したライフスタイルと家庭生活および職業生活について、課題を見出して、解決を目指して考えをまとめて表現することができる。 c:生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度